

丸山繊維産業

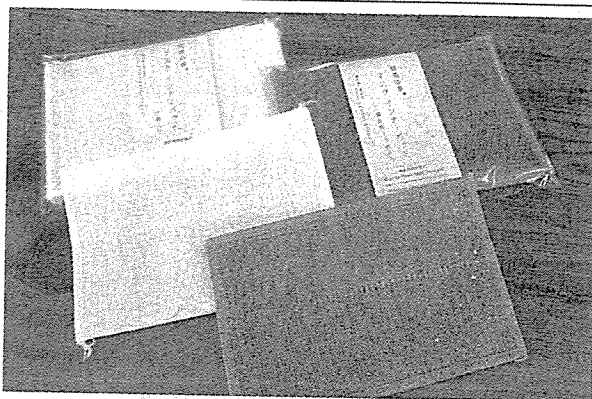
蚊帳地のマスクパッド発売

1カ月弱で製品化

蚊帳地など粗目織物使用の生活雑貨ブランド「ならっぷ」を展開する丸山繊維産業（奈良県天理市）は、マスクの内側に挟み込んで使う『蚊帳の夢』マスクインナーパッド」をこのほど発売した。（1面参照）

レーヨンと綿の混紡糸使用の生地を用い、洗濯して繰り返し使用できる。表層に目の細かな蚊帳地を用いた白と、備長炭練り込みレーヨン使用のグレーの2色をそろえる。いずれも5枚入りで、価格は800円。

同社で初めて取り組む製品ジャンルのため、使用前に煮沸して風合いを良くするといった最適な使用方法を会員制交流サイト（SNS）でフォロ



目の細かい白と備長炭使用のグレーの2種展開

で各工程を内製化しているメリットを生かし、短期間で製品化した。丸山勝広専務は、「ノベルティー用途へのQRを意識した自社備蓄、一貫生産体制が生かせた」と話す。

1する。3月はじめに取引先からマスク関連製品開発の打診があり、自社で織布して備蓄する粗目織物の中から生地を選定。裁断、縫製、パッケージングま

当面は、自社直営店「ならっぷ」（奈良市）や自社のネット通販など販路を絞りこみ、市場の反応を見極める。丸山欽也社長は、「今後の衛材ジャンルへの開拓にもつなげたい」と話す。